

伊予市子育て応援宣言

～育てよう未来の伊予 世界をかける子どもたち～

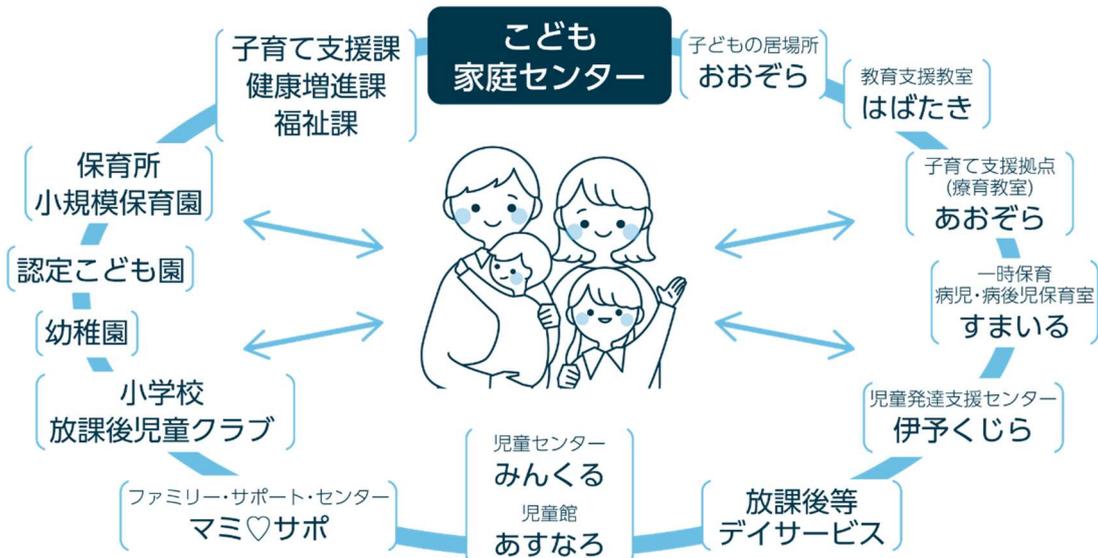
近年、子どもに関し顕在化した児童虐待やいじめ、貧困、深刻な少子化など日本が抱える社会的課題を背景として、社会全体で子どもの成長を後押しする必要性と機運が高まったことなどから、令和5年4月「こども家庭庁」が創設されました。この「こども家庭庁」は、子ども政策の司令塔として、“こどもの視点、子育ての当事者の視点に立った政策立案”、“全ての子どもの健やかな成長、Well-beingの向上”、“誰一人取り残さず、抜け落ちることのない支援”など6つの基本理念をもって、子ども政策を強力に進めるとしてまいります。

子どもたちに夢や希望、そしてチャンスが平等に与えられ、学力だけでなくスポーツや文化などの分野においても、大志を抱いて世界に飛躍できる国際色豊かな人材が輩出される、そんな子どもたちの未来が広がるまちづくりを目指します。

また、SDGsが掲げる理念を達成するため小児科誘致を図るとともに、切れ目が生じない包括的な支援の実現に向け、子ども総合センターと母子包括支援センターを統合した「こども家庭センター」の創設、ひきこもりや不登校児童への支援を目的とした「子どもの居場所事業」の実施、交付金を活用した事業展開や給付金支給など子育て世帯に対する支援の拡充に努めてまいります。

伊予市は、未来を担う子どもたちが永く住み続けたいと実感する『こどもまんなか社会』の実現と、文化や世界観の提供によるワールドワイドな夢の醸成・活動の支援など『世界を担える人材育成』を、市民・事業者・行政など総ぐるみで高度に実施していくことを、ここに宣言いたします。

—こどもまんなか社会—



令和5年5月10日

伊予市長

武智邦典